

あなたの学習意欲を応援します 『マイスタディ講座』を 始めませんか

申し込み・問い合わせ先
社会教育課公民館係 ☎(48)1111(内260)

マイスタディ講座とは、町民の皆さんの自主企画による学習活動を支援し、さまざまな分野の学習機会を提供するものです。

費用

一講座当たり講師費用として五万円を限度として負担します。受講料と施設使用料は原則無料ですが、そのほかの必要経費は自己負担となります。

対象者

町内在住・在勤者（申請者は成人の方に限ります）

募集講座 三講座

応募期限

六月二十九日(金)まで
規模など

集合学習方式で一講座十人以上、学習時間は一回につき二時間程度で五回以上とします。

開設時期

平成十九年八月から平成二十年三月まで

会場 町内の公共施設

申込方法

一緒に学習する人を五人集め、社会教育課(公民館係)へ開設申請をします。教育委員会で審査後、広報あぐいなどで講座参加者を募集し、十人以上になったら活動ができます。学習内容の領域

- ・ 地域社会や住民生活に関すること (地域づくり・人間関係・人権教育・環境浄化・ボランティア活動など)
 - ・ 青少年、女性教育や家庭生活に関すること (家庭生活・子育て・消費生活・女性問題など)
 - ・ 国際問題に関すること (国際情報・異文化理解・国際交流・語学など)
 - ・ 安全・健康に関すること (食品公害・健康・医学・緑化問題など)
 - ・ 教養・情操の育成に関すること (芸術芸能・文学歴史・音楽・自然科学など)
- 趣味的なものや政治・宗教に関するものは除きます。

子どもに伝えたい

あぐいのむかし

12

郵便局のはなし

明治四(一八七二)年に明治政府は、江戸時代の通信の主力であった飛脚屋に代え、新しく郵便制度を設けました。

知多地方では、明治五(一八七二)年に亀崎・横須賀・大野に郵便局が開設され、順次ほかの町村にも開設されていきました。



昔の郵便局(宮津)

阿久比では明治三十五(一九〇二)年に「宮津郵便受取所」が開設。その後、明治三十八(一九〇五)年に「宮津郵便局」、明治四十二(一九〇九)年に「阿久比郵便局」と名前を変え、窓口業務だけでした。

明治四十一年に始まった電報受付業務は、通常郵便よりも盛んに利用されました。電報以外の郵便物は、亀崎局と岡田局から配達されたのでとても時間がかかりました。

昭和三(一九二八)年に阿久比郵便局が集配業務を始めると、その年の普通郵便は三十万通、配達郵便は約五十万通に上りました。当時、阿久比村の人口が一人未満であったことから考えると、大変な数だと言えます。この数は交通が不便で通信施設が未発達であった阿久比での郵便の重要性を物語っています。

当時は現在と違い、電話交換業務も郵便局が行っていました。阿久比では大正十二(一九二三)年に開局し、開局当時の加入者数は四十一件という記録が残されています。

(『阿久比町誌』から一部抜粋)